

航空自衛隊仕様書			
仕様書の 種類	内容による分類	装備品等仕様書	
	性質による分類	個別仕様書	
物品番号	8465-428-1993-5	仕様書番号	
品名  又は  件名	ポーチ, 中	4補LPS-D84174-5	
		作成	平成28年 9月30日
		改正	令和 4年 2月 1日
			令和 5年 3月17日
作成部 隊等名	第4補給処		

## 1 総則

### 1.1 適用範囲

この仕様書は、航空自衛隊の自衛官が使用するポーチ, 中について規定する。

### 1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる主な用語及び定義は、引用文書等による。

### 1.3 製品の呼び方

製品の呼び方は、仕様書の名称による。

### 1.4 引用文書等

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお、次の文書に定める内容が、この仕様書に定める内容と相違する場合は、法令等を除き、この仕様書に定める内容が優先する。

#### 1.4.1 引用文書

##### a) 規格

JIS L 0842 紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0844 洗濯に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0848 汗に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0849 摩擦に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 1030-1 繊維製品の混用率試験方法—第1部：繊維鑑別

JIS L 1030-2 繊維製品の混用率試験方法—第2部：繊維混用率

JIS L 1092 繊維製品の防水性試験方法

JIS L 1096 織物及び編物の生地試験方法

JIS L 2511 ポリエステル縫糸

JIS L 3416 面ファスナ

NDS Z 0001 包装の総則

品名	ポーチ, 中
----	--------

NDS Z 8011 角形銘板

b) 仕様書

C&LPS-Y00007 調達品等一般共通仕様書

C&LPS-I84093 防弾チョッキ3型, 空

C&LPS-D84500 作業服改, 空

c) 法令等

中央調達に係る直接監督方式及び直接完成検査方式の標準実施要領について（通知）（装管企第297号平成27年10月1日）

1.4.2 関連文書

NDS L 0101 縫製用語

NDS L 0102 縫製要領

NDS L 3003 繊維テープ

2 製品に関する要求

2.1 材料

材料は、表1による。

2.2 縫製要領

2.2.1 一般要領

一般要領は、次による。

- a) 針数は、2.5 cm 間隔の表面に現れた針数とし、8針以上とする。
- b) 縫い始め及び縫い終わりは、返し縫いを完全に行う。
- c) 縫い飛び及び縫い外れがなく、糸調子が優良で、縫い目曲がりがないようにする。
- d) 仕上げは、糸くずなどを取り、丁寧に仕上げる
- e) 各部の縫い代は、0.5 cm 以上とする。

2.2.2 細部要領

細部要領は、次による。

- a) 収納部は、本体、マチ及び中仕切りとも、上部をテープ二つ折りにして縁巻きする。
- b) 中仕切り部に、持ち出しテープを上部は二条、下部は一条にて縫着する。
- c) マチ部中央に、中仕切り部を縫着する。
- d) 本体収納部持ち出しテープは表面に面ファスナ（メス）を縫着し、収納用ゴムテープ貫通口を設ける様に上部は二条、下部は箱型に縫着する。
- e) 本体収納部及び中仕切りの内側上部にすべり止め地を縫着する。
- f) 本体底部にハトメを取り付ける。
- g) 固定用テープ（2本）は、端を折り返し樹脂板を入れ、引き手テープを挟み込み縫着する。また、所定の位置にすべり止め地を縫着する。
- h) 本体台座裏面に、固定用テープ（2本）及び本体側固定用テープ（3本）を所定の位置に縫着する。
- i) 本体背部は、表地と裏地の間に樹脂板を入れ、上下ともズレ止め縫いをする。

品 名	ポーチ, 中
-----	--------

j) 本体周囲は、表地、芯地、裏地及びマチを合わせて、テープを二つ折りにして縁巻きする。また、面ファスナ（オス）をふた部所定位置に引き手テープを挟み込み縫着する。

k) 本体収縮用ゴムテープは、端を 1.5 cm 返し、押さえ縫いをする。

### 2.3 形状・寸法

形状・寸法は、図 1 及び図 2 によるほか、細部は、承認見本による。また、寸法許容差は、中央調達に係る直接監督方式及び直接完成検査方式の標準実施要領について（通知）による。

### 2.4 外観

外観は、仕上がりが優良で、きず、汚れなどの欠点がないほか、細部は、承認見本による。

### 2.5 製品の表示

#### 2.5.1 銘板

銘板は、図 2 に示す様式のものを用いて固定用テープ裏面に縫い付ける。

#### 2.5.2 用字・書体

用字・書体は、NDS Z 8011 によるほか、記載事項及び枠は黒色で、にじみ及び退色しにくいものを用いて、鮮明に押印又は印刷する。

### 3 監督・検査

監督・検査は、分任支出負担行為担当官（以下、“分支担当”という。）の定める監督及び検査実施要領に基づき実施する。

### 4 出荷条件

#### 4.1 包装

包装は、商慣習とする。

#### 4.2 外装の表示

外装の表示は、NDS Z 0001 の表示・標識による。ただし、表示内容は、次による。

a) 調達要求番号

b) 物品番号

c) 品名（製品の呼び方）

d) 数量

e) 納入年度

例 2016 年度

f) 製造者名（若しくはその略号）又は納入者名（若しくはその略号）

### 5 その他の指示

#### 5.1 承認用見本

契約の相手方は、製作に先立ち、承認用見本として製品 1EA 及び C&LPS-I84093 の付表 4 についての試験成績書を分支担当官に提出し、外観、形状及び色について承認を得なければならない。ただし、分支担当官から、承認を得た実績がある契約の相手方は、仕様の変更がない場合、本提出を省略することが可能である。

品名	ポーチ, 中
----	--------

## 5.2 仕様書の疑義

契約の相手方は、仕様書の内容について疑義が生じた場合は、分支担当を通じて要求元と協議する。

表 1-材料

項目		規定	用途
生地	表地	表 3 による。	本体
	裏地	ポリエステル 100% ライトグレー色	本体裏地
テープ	ナイロン平織 ライトグレー色	厚さ 1.2 mm 幅 25 mm	固定用テープ
		厚さ 0.5 mm 幅 20 mm	縁取りテープ, 引き手テープ
		厚さ 1.3 mm 幅 50 mm	持ち出しテープ
樹脂板	ポリエチレン 厚さ 1 mm	固定用テープ部, 本体背部	
芯地	ポリエステル 100%	本体補強用	
はとめ	黄銅製 黒メッキ 内径 5 mm	水抜き用	
すべり止め地	塩化ビニル	本体内側すべり止め, 固定用テープ部	
面ファスナ	JIS L 3416 ライトグレー色 幅 50 mm	ふた開閉用	
ゴムテープ	綿織角ゴム 幅 25 mm 厚さ 2.5 mm 伸度 60% ライトグレー色	本体収縮用	
縫い糸	JIS L 2511 #30 ライトグレー色	全般縫製用	
銘板	ブロード #40 白色 裏面樹脂加工	製品表示用	

品名	ポーチ, 中
----	--------

表 3-材料 (表地)

区分		規定		試験方法
混用率	%	ポリエステル 100	ナイロン 100	JIS L 1030-1 及び JIS L 1030-2 による。
糸の見掛織度 dtex	たて	560	470	JIS L 1096 の A 法による。
	よこ	560	470	
組織		平織		
密度 本/2.5 cm	たて	38 以上	43 以上	
	よこ	38 以上	43 以上	
生地幅	cm	110 以上		
質量	g/m <sup>2</sup>	270 以下		
引張強さ	N	たて	2 200 以上	
		よこ	2 200 以上	
引裂強さ	N	たて	130 以上	
		よこ	130 以上	
耐水度	kPa	20 以上		JIS L 1092 の B 法による。
はっ水度		3 以上		JIS L 1092 による。
染色堅ろう度 級	洗濯	変退色	4 以上	JIS L 0844 の A-5 号による。 ただし, 汚染用添付布は, 綿布とする。
		汚染		
	摩擦 (乾燥)	3 以上	JIS L 0849 の II 形による。	
	耐光	4 以上	JIS L 0842 第 3 露光法による。	
汗	変退色	3 以上		JIS L 0848 による。
	汚染			
迷彩模様		C&LPS-I84093 の付図 5 による。		—
防水加工	表面	フッ素系樹脂加工		—
	裏面	ウレタンコーティング加工		—
染色加工		染料又は顔料による捺染加工とする。		—
色彩, 赤外線反射率及び面積比率		色については C&LPS-D84500 に定める色を基準とし, 細部については承認用見本とするほか, 赤外線反射率及び面積比率は, C&LPS-I84093 の付表 4 による。		—

品名	ポーチ, 中
----	--------

単位 mm

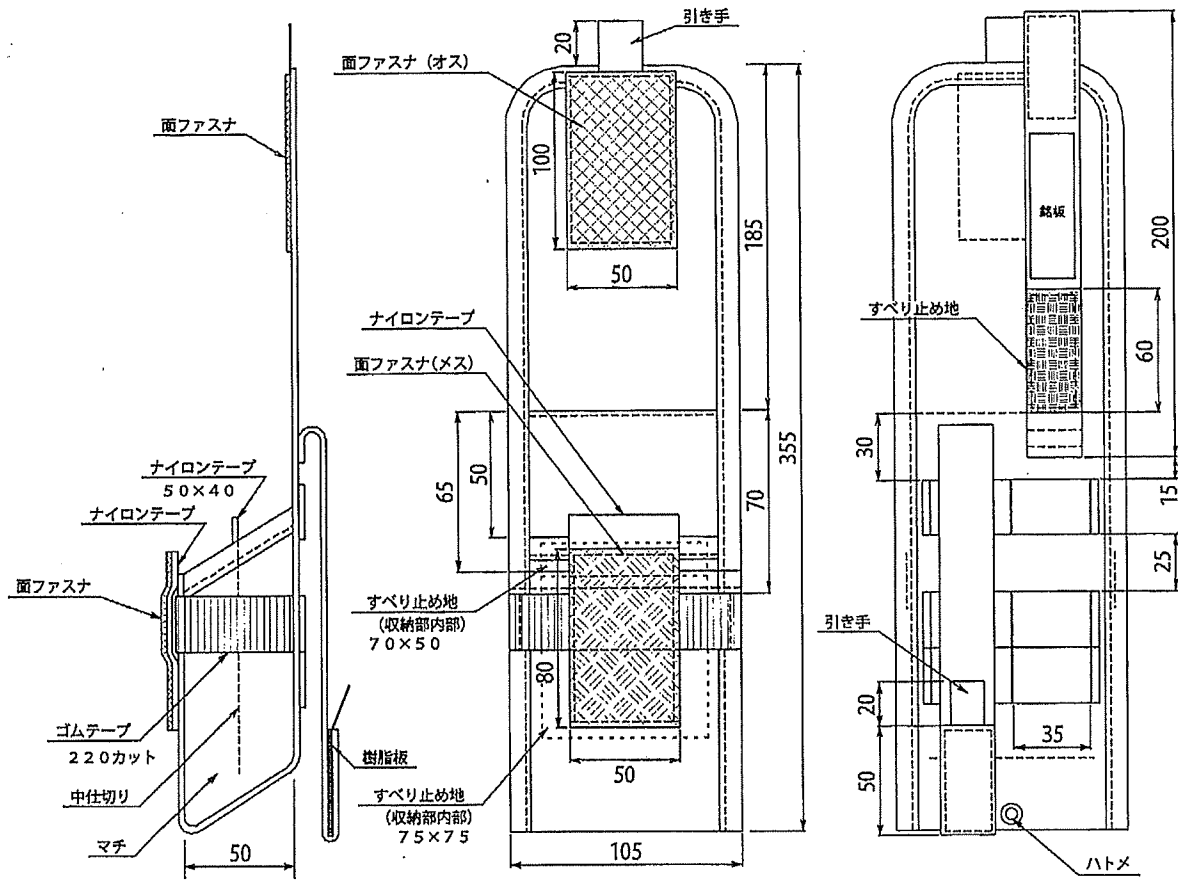


図1-形状・寸法

単位 mm

航空自衛隊	
品名	ポーチ, 中
納入年度	(1)
契約者	(2)

50

20

- (1) 納入年度を記載する。 例 2016 年度
- (2) 契約の相手方の名称または略号を記入する。

図2-銘板